



氷ノ山の貴重な湿生植物群落を鹿の食害から守る 氷ノ山 古生沼・古千本の湿原植物群の保護活動

氷ノ山の「古生沼の高地湿原植物群落」や「古千本・千本杉の奥山湿生植物群落」には、兵庫県レッドリスト A ランクに指定されているヤチスゲ、トキソウ等の貴重な植物が自生しています。

しかし、シカによる食害や湿地を踏み荒らす被害が発生するようになり、このまま放置すると貴重な植物が絶滅するおそれがあることから、養父市や兵庫県森林管理署、ボランティア団体が連携し、シカの進入を防ぐシカ柵の設置や管理を行っています。

今回は、2025年5月21日（水）に現地にて冬季に外していた柵の設置や支柱の補修を行います。



古生沼のトキソウ（7月）



シカ柵とバイケイソウ（7月）



古千本湿地周辺（11月）

氷ノ山山頂付近にある古生沼と古千本と呼ばれる湿地には、貴重な植物が自生するも、2004年頃よりこの場所にシカが進入して植物を食い、湿地を踏み荒らす状況が見られ、このままでは植物が絶滅することから植生保護柵を設置して保護する取組を開始。

これまでは但馬の貴重な植物を保護する活動を行うボランティア団体が主体となり、兵庫森林管理署、養父市などが連携し、雪解け後の春には植生保護柵の設置、降雪前の秋には撤去などを実施。

昨年度、兵庫森林管理署と保全に関する協定を締結。今年度も兵庫森林管理署、養父市（環境推進課・歴史文化財課）など行政が主体となり、研究者らボランティアと連携し、植生保護柵の設置を以下のとおり実施予定。

実施予定日：2025年5月21日（水）※雨天の場合5月26日（月）

作業行程：午前10時に大段ヶ平駐車場出発 氷ノ山山頂へ登山・昼食
午後1時から古生沼付近で作業

参集者：兵庫森林管理署、養父市（環境推進課・歴史文化財課、幹部職員、新任・若手職員）研究者らボランティア

【問合せ】

産業環境部 環境推進課 課長：田中正広 担当者：稲津義彦
電話 079-664-2033

古生沼の概要

【所有者】 林野庁(国有林)

【所在地】 養父市大屋町横行及び福定(氷ノ山山頂付近)

【指 定】 兵庫県指定文化財 天然記念物 1965年3月16日

【概 要】

古生沼は、標高1,510メートルの氷ノ山山頂付近、標高1,498メートルにある湿原である。ヤチスゲ、ツマトリウ、トキソウ、バイケイソウ、マイヅルウ、アカモノ、オオミズゴケ、ヒメミズゴケ、モウセンゴケ、カルカヤ、ワタスゲ、エゾリンドウ、バイケイソウ、コバノトンボソウ、キチドリ、スギゴケ、マンネンスギ、ケイソウ、ランソウなどが湿原に生育する。

西日本で唯一の高地性湿原といわれ、ヤチスゲなどの遺存種が生き残り、湿地性植物が自生している。中部地方以北の亜高山帯、高山帯に分布する草本では、ヤチスゲは南限であり、エゾリンドウは南西限にあたる。

なお、1937年8月8日、兵庫県博物学会の招きにより植物学者の牧野富太郎氏が氷ノ山や古生沼において植物調査を実施している。

参考資料出典

『せきのみや』「関宮町の豊かな自然を植物から探ろう 前田常雄」
関宮町教育委員会 2002年7月発行